

フェンシング男子エペ ナショナルチーム鹿児島キャンプ



1/歓迎セレモニーでの集合写真 2/見延和靖選手 3/練習前に毎日の体温チェック 3/練習の様子

10月19日～27日の間、フェンシング男子エペ・ナショナルチームの合宿が垂水中央運動公園体育館で行われました。合宿初日には、歓迎セレモニーがおこなわれ、地元特産品が贈られました。選手を代表して見延和靖選手が「色々な環境の変化が起こっていますが、東京オリンピック金メダルという目標だけはブレずに、オリンピックにつながる合宿にし、皆様にオリンピックの金メダルを披露できれば」と抱負を述べました。また、合宿は毎日の体温チェックなど新型コロナウイルス感染防止に細心の注意をはらって行われました。懸命な努力を続ける選手のために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

11月4日、新城小学校で年賀状に向けた絵手紙教室が開催されました。講師を桑波田智恵美さんが務め、新城郵便局の局員3名が手伝い、年賀はがきの特徴や絵手紙の書き方を教わりました。教室には、全校児童が参加し、児童たちは、絵を描き始めると夢中になって、思い思いの絵手紙を作りました。



絵手紙で思いを届ける 新城小学校絵手紙教室

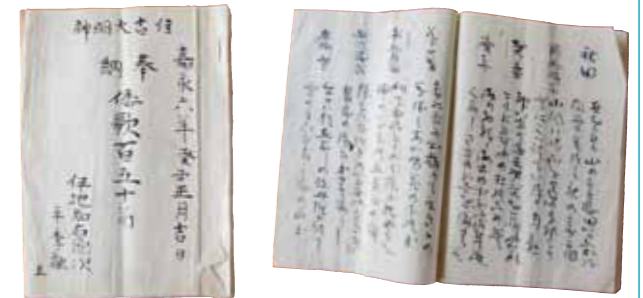
垂水水協ソフト 県大会出場を決める！



10月11日、垂水水協ソフトボールスポーツ少年団が東串良総合運動公園で行われた県大会予選肝付地区予選会を見事勝ち抜き、県大会出場を決めました。主将の和田華月さん（協和小5年）は「みんなと協力して、声を出し合い、良い結果を残すことができました。県大会でも今大会のように笑顔で頑張りたいと思います」と県大会への意気込みを話しました。同チームは、総勢16人のチームで取材当日も元気よく練習に励んでいました。チームの今後ますますのご活躍を祈念いたします。

まちの話題 Tarumizu TEA TIME

手貫神社で発見 麓の武士たちの奉納和歌



手貫神社（上之宮神社）で、幕末のころ垂水麓の武士たちが奉納した和歌が発見されました。約1,200首の和歌は、住吉神社（現在の今川原公民館）に麓の家臣の名前で奉納されたあと、明治期に手貫神社に移されたと思われます。奉納和歌は、麓の武士たちの文芸活動が盛んであったことを裏付ける、貴重な史料です。

10月15日、垂水市自衛隊家族会が作成した交通安全の横断幕が垂水小学校前に掲示されました。横断幕には「あぶないぞ！まわりを見ようみぎ、ひだり」と書かれており、子どもたちに交通安全を呼びかけています。今回の取組について松下輝幸会長は「自衛隊は、災害派遣などで地域に密着した活動を行っています。家族会でも市内の子どもたちの交通安全に少しでも貢献できればと思っています」と話されました。横断幕は、市内小学校で順次掲示する予定です。



垂水市自衛隊家族会 交通安全啓発活動